

令和6年 市長・市議会議長 年頭のごあいさつ



つがる市長
倉光 弘昭

新 年おめでとうございます。市民の皆さま方には、清々しい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃より市政運営につきまして、特段のご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、行動制限が撤廃されました。停滞していた社会経済活動は、少しずつ以前の姿を取り戻しているように感じています。

6月、市民待望のつがる市総合体育館「伊藤鉦業アリーナ」がグランドオープン。さまざまなスポーツ大会やイベントに、多くの来場者が訪れ、笑顔にあふれ、歓喜に沸いたことに深く感動しました。今後は本市

のランドマークとして市民に長く愛され、そしてまた市民に育てただけの施設であってほしいと強く願います。

昨夏は、記録的な暑さが続き、稲作農家に対しては、適期刈り取りの徹底を呼び掛けてきたところですが、「胴割れ」や「白未熟粒」が例年より多くみられ、1等米の比率が大幅に低下し、生産者からは落胆の声が聞かれました。

■重点課題への取り組み

「人口減少・少子高齢化対策」では、若い夫婦世帯の移住支援や結婚を機に始まる新生活への応援事業を継続。木造地区の若緑団地建替事業に本格的に着手し、住環境の整備に取り組んできました。

「魅力ある農業の推進」では、スマート農業の推進、新規就農

者の支援、収入保険やナラシ対策への加入促進などに継続して取り組んできました。また、市農産物直売所の南側の農地を新たに取得し、農産物の加工と販売を一体化する施設の整備に着手しました。

「子育て・健康づくり対策の充実」では、さらなる拡充を図るため、高校生までの医療費無償化、小学校就学前の全ての子どもにかかる保育料無償化を実施。加えて、放課後児童クラブを利用する全ての児童の保護者負担金を全額助成し、無償化しました。健康づくり対策では、40歳以上の全市民を対象とした総合健診、ならびに個別検診や脳ドック検診の助成について、継続して実施してきました。

これら重点課題への取り組みのほか、物価高騰対策として、市民や事業者の負担軽減を図るため、さまざまな給付事業を実施しました。また、合葬墓の整備については、市斎場に隣接する篠原霊園に年度内の完成を見込んでおり、新年度から利用の申し込みを受け付けます。市役所での行政サービスでは、ラインを活用した行政情報の配信や「キャッシュレス決済」「書かない窓口」といった「スマート窓口」を導入。市民の利便性の向

上と業務の効率化が図られるものと思っています。

■令和6年度に向けて

「人口減少・少子高齢化対策」は、本市の最重要課題として危機感を持って捉えているところであり、若い世代が魅力を感じ、まちづくりをさらに進めていかなければならないと思っています。

また、高齢者世帯が増加し、買い物や通院などに困難を感じる市民が増えています。タクシー事業者の協力による高齢者の移動支援や、移動販売空白地帯へのテコ入れを図ります。

本市は、来年2月に市制施行20周年を迎えます。この記念すべき節目の年を迎えるにあたり、記念式典をはじめ、長編映画製作、姉妹都市交流、歴史的資産の活用など、多彩な記念事業の実施に向けて準備を進めます。

今後も、子どもからお年寄りまでつがる市に愛着をもって暮らせる便利で豊かなまちづくりと、地域が抱える課題にスピーディーに取り組むとともに、市民のやる気を大事に育てる市政運営を推進していきます。



謹賀新年



つがる市議会議長
木村 良博

新

年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかに初春を迎えられたことと心からお喜び申し上げますとともに、日頃より、市政の発展と議会運営に對して温かいご理解とご協力をいただき、厚く感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、2019年から猛威を振るっていた新型コロナウイルスは多くの国や地域で人々の生活や経済にとっても大きな影響を及ぼしてきましたが、ようやく落着きがみられ、規制も緩和され皆さまの生活も日常に戻りつつあります。

本市では、つがる市総合体育館が完成し、「伊藤鉦業アリーナつがる」の呼称となつてプロバレーボールやプロバスケットボールの公式戦が開催され選手の

フォーモンスに魅了されました。

また、姉妹都市の米国メーン州バス市では、「リバーウォーク公園」の一角に、チェスボロー号遭難救助130周年および訪問交流事業開始から30周年を記念し、絆を深める象徴として、鳥居と日本庭園の整備が進められ、その完成式典およびレセプションにお招きいただきました。

平成2年から、両市の間では中学生等による相互訪問交流を行ってきましたが、コロナ禍により交流が途絶えていました。昨年は、本市の中学生等のバス市訪問は中止となりましたが、バス市からは6人の訪問団が本市を訪れ、交流が再開されました。今後、相互に活発に交流が行われ、両市の絆を深め、生徒たちに協調の精神が育まれることを期待しています。

さて、経済の状況といえば、物価の高騰が続く、私たちの生活を圧迫していますが、少しでも軽減されるよう対策を講じなければならぬと思っています。

農業においては、夏場の長期にわたる高温によつて、農作物の減収や品質低下などの被害が発生しました。自然災害は、いつどこで起きてもおかしくない状況であり、今後、より一層迅速な対応が求められます。

本市は、次世代を担う若者の人口流出や少子高齢化が進んでいることから、早期の対応が求められています。市議会におきまして、市と連携を深めながら最善の努力をしていく所存です。

私ども市議会は人口減少、社会経済状況に鑑み、昨年12月議会において次の市議会議員選挙から議員定数を「18人」から「16人」に削減する条例案を可決しました。議員二人一人がより魅力ある街づくりのため、市民のニーズを的確に捉え、市政への意思を反映することが重要な責務であると認識しています。

新たな年を迎え、市議会の役割と責任の重さを自覚し、議員一同、市民の信頼と負託に応えられるよう研さんを重ね努力していく所存ですので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。